

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成27年12月17日 (2015.12.17)

【公表番号】特表2015-532248(P2015-532248A)
 【公表日】平成27年11月9日 (2015.11.9)
 【年通号数】公開・登録公報2015-069
 【出願番号】特願2015-537786(P2015-537786)
 【国際特許分類】

B 6 5 D 1/26 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 1/26 1 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月18日 (2015.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

物品を保持する容器であって、
 基層に少なくとも部分的に固定されるラミネート層と、
 協働して該容器の空洞を少なくとも部分的に画定する底壁及び側壁であって、前記ラミネート層は、前記空洞に隣接する該容器の内面を少なくとも部分的に構成し、前記側壁は、端部領域を有し、該端部領域の少なくとも一部は湾曲し、且つ複数のブリーツが少なくとも前記側壁の前記端部領域に形成される、底壁及び側壁と、

該容器の前記空洞への前記ラミネート層の浮き上がりを少なくとも部分的に低減する、
 該容器に延在する複数のスコア線と、

前記底壁及び前記側壁をつなぐ底角部であって、前記複数のスコア線は少なくとも前記底角部に延在する、底角部と、
 を有する、容器。

【請求項 2】

前記複数のスコア線である前記スコア線は、前記容器の前記内面にそれぞれの溝を少なくとも部分的に画定し、前記複数のスコア線である前記スコア線は、前記容器の外面にそれぞれの凸部を少なくとも部分的に画定する、請求項 1 に記載の容器。

【請求項 3】

前記底角部は、前記ラミネート層が前記基層よりも概して小さい曲率半径を有するように、湾曲して、前記容器の外面から凸状になっている、請求項 2 に記載の容器。

【請求項 4】

前記側壁は側部領域を有し、前記複数のスコア線は、前記側壁の前記側部領域に隣接する前記底角部に延在する第 1 の複数のスコア線と、前記側壁の前記端部領域に隣接する前記底角部に延在する第 2 の複数のスコア線とを含む、請求項 2 に記載の容器。

【請求項 5】

前記側壁の前記側部領域は湾曲し、前記容器の外面から凹状になっており、前記第 1 の複数のスコア線である前記スコア線は湾曲している、請求項 4 に記載の容器。

【請求項 6】

前記側壁は第 1 の側部領域及び第 2 の側部領域を有し、前記複数のスコア線は、前記側壁の前記第 1 の側部領域に隣接する前記底角部に延在する第 1 の複数のスコア線と、前記

側壁の前記第 2 の側部領域に隣接する前記底角部に延在する第 2 の複数のスコア線とを含む、請求項 1 に記載の容器。

【請求項 7】

前記側壁の前記第 2 の側部領域は湾曲し、前記容器の外側から凹状になっており、前記第 2 の複数のスコア線である前記スコア線は湾曲している、請求項 6 に記載の容器。

【請求項 8】

前記第 2 の複数のスコア線の各スコア線の端点が、前記第 2 の複数のスコア線の前記それぞれのスコア線の中点よりも前記側壁の前記第 1 の側部領域から遠くにある、請求項 7 に記載の容器。

【請求項 9】

前記側壁の前記第 1 の側部領域は概して真っ直ぐであり、前記第 1 の複数のスコア線である前記スコア線は概して真っ直ぐである、請求項 7 に記載の容器。

【請求項 10】

前記端部領域は、前記第 1 の側部領域と前記第 2 の側部領域との間に延在し、第 3 の複数のスコア線が、前記側壁の前記端部領域の少なくとも一部に隣接する前記底角部に延在し、前記側壁の前記端部領域の少なくとも一部は湾曲している、請求項 6 に記載の容器。

【請求項 11】

前記側壁は前記底角部から概して上方に延在し、フランジが前記側壁から概して外方に延在する、請求項 1 に記載の容器。

【請求項 12】

前記底角部は、前記ラミネート層が、少なくとも該底角部において前記基層よりも概して小さい曲率半径を有するように湾曲している、請求項 1 に記載の容器。

【請求項 13】

前記底壁の少なくとも一部が、前記底角部の少なくとも一部よりも高く隆起している、請求項 1 に記載の容器。

【請求項 14】

物品を保持する容器を形成するためのブランクであって、

基層に少なくとも部分的に固定されるラミネート層と、

協働して、該ブランクから形成される前記容器の空洞を少なくとも部分的に画定する底部及び辺縁部であって、前記ラミネート層は、該ブランクから形成される前記容器の内面を少なくとも部分的に形成する、底部及び辺縁部と、

該ブランクに延在し、該ブランクから形成される前記容器の前記空洞への前記ラミネート層の浮き上がりを少なくとも部分的に低減する複数のスコア線と、

前記底部及び前記辺縁部をつなぐ底角領域であって、前記複数のスコア線は、少なくとも前記底角領域に延在する、底角領域と、

前記辺縁部の端部領域にある複数のブリーツスコアであって、前記辺縁部は、前記ブランクから形成される前記容器の少なくとも側壁を少なくとも部分的に形成し、該複数のブリーツスコアである該ブリーツスコアは、前記ブランクから形成される前記容器の前記側壁にそれぞれのブリーツを形成する、複数のブリーツスコアと、
を有する、ブランク。

【請求項 15】

前記複数のスコア線である前記スコア線は、前記ブランクの前記内面にそれぞれの溝を少なくとも部分的に画定し、前記複数のスコア線である前記スコア線は、前記ブランクの外側にそれぞれの凸部を少なくとも部分的に画定する、請求項 14 に記載のブランク。

【請求項 16】

前記容器が前記ブランクから形成されると、前記底角領域は、湾曲した底角部を形成し、前記容器が前記ブランクから形成されると、前記底角部は、前記ラミネート層が前記底角部において前記基層よりも概して小さい曲率半径を有するように、前記ブランクから形成される前記容器の外側から凸状になっている、請求項 15 に記載のブランク。

【請求項 17】

前記辺縁部は側部領域を有し、前記複数のスコア線は、前記辺縁部の前記側部領域に隣接する前記底角領域に延在する第１の複数のスコア線と、前記辺縁部の前記端部領域に隣接する前記底角領域に延在する第２の複数のスコア線とを含む、請求項１５に記載のブランク。

【請求項 １８】

前記第１の複数のスコア線である前記スコア線は湾曲しており、前記辺縁部の前記側部領域は、前記容器が前記ブランクから形成されると、前記側壁の湾曲部を形成し、該側壁の該湾曲部は、前記ブランクから形成される前記容器の外面から凹状になっている、請求項１７に記載のブランク。

【請求項 １９】

前記辺縁部は、第１の側部領域及び第２の側部領域を有し、前記複数のスコア線は、前記辺縁部の前記第１の側部領域に隣接する前記底角領域に延在する第１の複数のスコア線と、前記辺縁部の前記第２の側部領域に隣接する前記底角領域に延在する第２の複数のスコア線とを含む、請求項１４に記載のブランク。

【請求項 ２０】

前記第２の複数のスコア線である前記スコア線は湾曲しており、前記辺縁部の前記第２の側部領域は、前記容器が前記ブランクから形成されると、前記側壁の湾曲部を形成し、該側壁の該湾曲部は、前記ブランクから形成される前記容器の外面から凹状になっている、請求項１９に記載のブランク。

【請求項 ２１】

前記第２の複数のスコア線の各スコア線の端点が、前記第２の複数のスコア線の前記それぞれのスコア線の中点よりも前記辺縁部の前記第１の側部領域から遠くにある、請求項２０に記載のブランク。

【請求項 ２２】

前記第１の複数のスコア線である前記スコア線は概して真っ直ぐであり、前記辺縁部の前記第１の側部領域は、前記容器が前記ブランクから形成されると、前記側壁の概して真っ直ぐな部分を形成する、請求項２０に記載のブランク。

【請求項 ２３】

前記端部領域は、前記第１の側部領域と前記第２の側部領域との間に延在し、第３の複数のスコア線が、前記辺縁部の前記端部領域の少なくとも一部に隣接する前記底角領域に延在する、請求項１９に記載のブランク。

【請求項 ２４】

前記ブランクの前記辺縁部は、前記容器が前記ブランクから形成されると、側壁及びフランジを少なくとも部分的に形成する、請求項１４に記載のブランク。

【請求項 ２５】

容器を形成する方法であって、

基層に少なくとも部分的に固定されるラミネート層と、複数のスコア線と、底部と辺縁部と、該底部及び該辺縁部をつなぐ底角領域とを有するブランクを得るステップと、

前記ブランクから底壁及び側壁を有する前記容器を形成するステップであって、該容器を形成するステップは、前記底壁及び前記側壁によって少なくとも部分的に画定される空洞を形成するステップと、前記ブランクの前記辺縁部から少なくとも前記側壁を形成するステップと、前記ブランクの前記底部から前記底壁を形成するステップと、前記ブランクの前記底角領域から底角部を形成するステップと、前記側壁の側部領域を形成するステップとを含む、前記ラミネート層は、前記空洞に隣接する前記容器の内面を構成する、形成するステップと、

を含み、

前記容器を形成するステップの際に、前記複数のスコア線は、前記容器の前記空洞への前記ラミネート層の浮き上がりを少なくとも部分的に低減し、前記側部領域は湾曲し、前記容器の外面から凹状になっている、方法。

【請求項 ２６】

前記底角部は、前記ラミネート層が前記基層よりも概して小さい曲率半径を有するように、湾曲し、前記容器の外面から凸状になっており、前記複数のスコア線は少なくとも前記底角部に延在する、請求項25に記載の方法。